小林市社会福祉センター本館が完成

さらに利用しやすくなった新たな地域福祉の拠点

市社会福祉センター本館が県小林総合庁舎隣に完成しました。新築された本館は、高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などの相談窓口をひとつのフロアに集約。また、市民が利用できる交流スペースや相談室３部屋が完備され、多様化する福祉ニーズにスムーズに対応できるよう整備が図られました。

８月６日（月曜）、落成式と内覧会を開催。落成式で市社会福祉協議会の種子田與市（たねだよいち）会長は、「福祉の推進は社会福祉協議会の使命。この施設を新たな福祉拠点として事業を進めてまいります」とあいさつしました。

少子高齢化などで地域コミュニティが大きく様変わりし、個人や地域での福祉問題は多岐にわたります。新しい地域福祉の拠点が誕生したことで、一つでも多くの課題が解決に進むよう、今後の活用が期待されます。

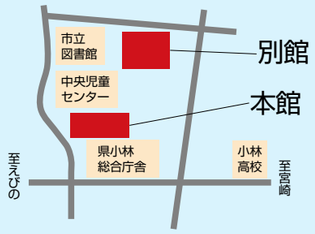
●問・市社会福祉協議会
TEL 23 - 3466

【主な業務】

（本館）＝地域福祉、総合相談、ボランティアセンター、成年後見センター、日常生活自立支援、生活自立相談支援センター、障がい者相談支援 など

（別館）＝介護支援事業所

【アクセス】



1
4 3 2
5

Photo 1 本館の外観。駐車スペースも広くなった **2** 地域住民などが利用できる交流スペース **3** 相談に総合的に対応できるよう様々な係が連携 **4** 落成式でのテープカット **5** 旧センター（別館）は、ボランティアなど様々な地域活動などが行えるよう多くの会議室を確保

Photo 1 個別の相談ができるスペースも設置 **2** 専門的な支援を活用できるインキュベーションスペース **3** ミーティングスペースはセミナーやワークショップも開催

インキュベーションマネージャー着任

小林ビジネス支援センターで起業・経営の相談に応じます

起業や創業を考えている人や現在の経営に悩みを抱えている人などの支援拠点「小林ビジネス支援センター」。７月25日（水曜）、同センターに起業家や経営者などの相談相手になり、事業目標達成に導くインキュベーションマネージャー（以下、IM）３人が着任しました。

着任した３人のIMは、社会保険労務士と中小企業診断士の有資格者。専門的な立場から経営の不安に的確にアドバイスして事業目標達成のお手伝いをします。具体的には、事業計画や資金計画などの作成のサポート、起業に必要な手続きの説明、関係機関への紹介などを行います。

「経験を生かして独立したい。何から始めればいいのか」、「どうやって事業継承すればいいのか」、「農業の経営を改善したい」など、起業・創業や経営に関する相談のある人は、ぜひ活用してください。

●問
・小林ビジネス支援センター（TENAMUビル２階）
TEL 48 - 7788

INTERVIWE 私たちがインキュベーションマネージャーです

立山（たてやま） 忠治（ただはる） さん
（65 歳、都城市）

新規創業や事業の再生、事業継承など親身になって同じ目線でサポートします。なんでもご相談ください。

相良（さがら） 邦雄（くにお） さん
（69 歳、宮崎市）

事業継承や経費削減などが得意分野です。最後まで責任もって相談に乗ります。よろしくお願いします。

池田（いけだ） 裕規（ゆうき） さん
（37 歳、細野）

労務関係の視点から、必要な情報を提供します。若い人にも、わかりやすい言葉で説明しますので気軽にお越しください。